

関西支部 京都地区イベント（見学・講演）

京都大学 阿武山地震観測所 特別見学会

ピンチをチャンスに！～地震観測所で学ぶ攻めの事業継続策定～

参加費
無料

11月21日(金) 14:00～17:00

交流会 17:30～19:00

この度、京都大学阿武山地震観測所にて、地震研究の魅力とその成果が私たちの社会とどう関わるかを探る特別見学会を開催いたします。

本見学会では、「地震学の歩み」講座で研究の歴史に触れ、貴重な「歴代地震計」を間近に見学。「屋上展望」からは大阪平野を一望し、地域が誇る「阿武山古墳と藤原鎌足の謎」についても学びます。普段は見られない観測所の内部と地球科学・地域の歴史が織りなす魅力をご体験ください。

見学会後には、富士通株式会社の松本国一による特別講演と意見交換会を実施。「先の読めない時代」において、いかに「攻めの事業継続」を進めるかについて、具体的な示唆を得られる貴重な機会となるでしょう。

地球の鼓動から、現代社会のレジリエンスまで。多角的な学びを深めるこの機会に、ぜひご参加ください。

会場

京都大学 防災研究所 阿武山地震観測所

集合

13時30分 JR高槻駅前

※会場までマイクロバスで移動



対象

Fujitsuユーザーコミュニティ関西支部会員企業・団体の方

定員

先着20名

<特にこんな方にオススメ！>

- ・防災対策や事業継続について、計画立案や運用に携わっている方。今後、携わる可能性のある方。
- ・事業継続について、自社の経営者や部のメンバーに説得力を持って説明したい方。
- ・歴史的遺産でもある地震観測所の見学から、幅広い知見と学びを得たい方。

申込

<https://seminar.jp.fujitsu.com/public/seminar/view/125760>

【申込締切：11月18日（火）】



<お問合せ>

Fujitsuユーザーコミュニティ関西支部事務局（富士通株式会社 エリアサポート部内）
E-mail：contact-family-kansai@cs.jp.fujitsu.com

プログラム

14:00～16:00

『地震学の歩み』講座

【講師】NPO法人阿武山地震・防災サイエンスミュージアム理事

坂手 央人 氏

『館内見学ツアー』 歴代地震計・屋上展望

大阪府近代遺産ノミネート 阿武山観測所内部

『阿武山アースダイバー』視聴

大阪平野の地下構造をCGでご紹介

～大阪平野の地下2000mの世界～

『阿武山古墳と藤原鎌足の謎』講座

16:00～17:00

講演・意見交換会：「先の読めない時代 ～天災・人災など様々なことが起きる時代
～攻めの**事業継続**が必要な時代に～

【講師】富士通株式会社 シニアエバンジェリスト 松本 国一



大阪府豊中市生まれ。

1991年富士通入社。情報・通信・モバイルの合計14部門37部署でソフト／ハードの設計から製品・事業企画／販売推進／営業まで、様々な業務に従事。雑誌や新聞、web、ラジオなど多くのメディアで働き方改革の紹介や池上彰氏、八塩圭子氏、佐々木俊尚氏など著名人との対談、ほか学会誌の執筆や日本銀行ラウンドテーブル、複数の高校・大学で講義など幅広く活躍中。

17:30～19:00 **交流会**（※任意参加 会費2,000円程度）

高槻駅近辺で実施します。

参加者同士の交流の場としてぜひご参加お待ちしております。

阿武山観測所について

1930年（昭和5年）設立の歴史ある地震観測所です。80年以上にわたり、ウィーヘルト地震計など最先端の機器で地震学の発展に貢献してきました。見学では、地震学の始まりから観測所の役割、地震の仕組み、進化してきた観測機器をご紹介します。

また、2007年には「注目すべき近代文化遺産」にも記載された昭和レトロな建築（内装）も見どころです。晴れた日には大阪平野から淡路島、関西国際空港まで見渡せる絶景もお楽しみいただけます。



屋上から見る大阪平野



ウィーヘルト地震計



らせん階段